

第3回おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議  
議事録要旨

平成24年7月20日(金)

14時00分～16時00分

会場：大田区立消費者生活センター 2階 大集会室

[配布資料]

- 資料1 おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議委員名簿
- 資料2 ユニバーサルデザインのまちづくり庁内推進委員会名簿
- 資料3 平成24年度UDパートナーの活動について(報告)
- 資料3-2 平成23年度ユニバーサルデザイン合同点検実施報告書(抜粋)  
(施設管理課)
- 資料3-3 平成23年度ユニバーサルデザイン合同点検実施報告書(抜粋)  
(都市基盤管理課)
- 資料4 総合学習支援事業について(報告)
- 資料5 (仮称)おおもり街なか“すいすい”プラン
- 資料6 部会報告(UD推進部会、UD普及部会)
- 資料7 平成24年度ユニバーサルデザインのまちづくり推進事業スケジュール
- 資料8 「“エスカレータは歩くと危険”キャンペーン」ちらし 他
- 資料9 第5回 大田ユニバーサル駅伝大会(報告)

[出席者]

(区民推進会議委員) 16名

産業能率大学教授 齊藤委員/公募 大内委員/公募 李委員/NPO 法人大身連 宮澤委員/  
大田区知的障害者育成会 佐々木委員/レモンホームケアサービス 柳谷委員/  
ひとにやさしいまちづくりを進める大田区民の会 高橋委員/蒲田東口地区まちづくり協  
議会 飯尾委員/大森駅東地区近代化協議会 堀委員/特定非営利活動法人 男女共同参  
画おおた 古澤委員/NPO 法人日本語ぐるりっと 飯島委員/大田商店街連合会 鷹西委員/  
大田観光協会 鳴島委員/東日本旅客鉄道株式会社 高橋委員/京浜急行株式会社 島村委  
員(代理)/東京急行電鉄株式会社 富田委員(代理)

(庁内推進委員) 13名

福祉部長/まちづくり管理課長/広報課長/施設管理課長/国際都市担当課長/高齢福祉課  
長/障害者施設計画担当課長/子育て支援課長/住宅課長/都市基盤管理課長/連続立体事  
業再開発担当課長(代理)/教育委員会指導課副参事  
(事務局)

福祉管理課長/福祉管理課担当係長/福祉管理課担当/まちづくり管理課計画担当係長/  
まちづくり管理課担当

(傍聴者) 1名

## [次第]

### 1 開会

開会のあいさつ 福祉部福祉管理課長

### 2 福祉部長あいさつ

### 3 会長あいさつ

### 4 新委員及び区職員新規出席者紹介

## 【議 題】

### 5 UD事業について

#### (1)平成24年度UDパートナーの活動について

事務局より資料3について説明

#### (2)平成23年度ユニバーサルデザイン合同点検実施報告書（抜粋）

（都市基盤管理課事業関係：池上梅園、桜のプロムナード）

都市基盤管理課より資料3-2について説明

#### (3)平成23年度ユニバーサルデザイン合同点検実施報告書（抜粋）

（施設管理課事業関係：萩中集会所）

施設管理課より資料3-3について説明

## 会長

ありがとうございます。合同点検を含めた事業について、各担当課から説明を受けました。内容について、ご質問、ご意見等ございましたら各委員の方お聞きしたいと思いますのでよろしくお願いします。

## A委員

今、最後にご説明していただいた「提供歩道」についてご説明をお願いします。

### （施設管理課）

大田区では、公共整備指針という区の施設を整備する場合の指針をもっています。区道のなかには、歩道を設置していない道路がたくさんあります。大田区の施設を整備する場合で区道に接している場合には2m後退して歩道をつくる、敷地内に歩道を作るということを決めています。これが、「提供歩道」というものです。

## 会長

歩行空間を確保するために、2mほどセットバックするということによろしいですか。他にいかがでしょうか。

いろいろな取組み対応を行政の方が熱心にやられている印象を受けました。今の関連で言いますと7番、8番の課題について、今後、検討課題とさせていただきたいとありますが、たとえば、状況によっていろいろ変えていくあるいは対応していくことが必要ではないでしょうか。新しい施設について指摘があったとき、今後の課題ということではなく、今後どのような取り組みが具体的に必要かという、ガイドラインのような方向がわかるといいと思ったのですが、いかがでしょうか。

## 施設管理課

ご指摘のとおりだと当課も考えております。この内容につきましては、直近では、7月31日になりますが職員向けにUD点検会等でご指摘された内容を研修会として勉強会を開くように考えております。こういった活動を通じて、個々の施設でいただいた意見を次の施設に反映できるよう取り組んでいきます。

## 会長

それはすばらしいことだと思います。是非、各職員の方に情報を伝えていただければと思います。

## B委員

UDパートナーからの意見の3番のところで、「体育室の内部に手すりがあると目の不自由な人も、それを伝わって運動ができる」とありまして対応方法には「小体育室には、壁面に手すりが設置されております。姿見も設置しておりますので小体育室をご利用ください」という対応がなされていますが、大きな体育室でないとスポーツができない様なものもあるかなと思いますが、それをあえて小体育室の方でと言っていることは、予算との関係で大きな体育室には手すりがつけられないという意味合いもあるのでしょうか。

## 施設管理課

大きな体育室と小さな体育室をふたつ用意させていただきました。大きな体育室の方に新しく手すりをつけるということになりますと、壁の補強を含めていろいろな造作が必要になってくると考えています。今後の施設の設計にあたりましては、今回のご指摘を受けて手すりの設置等も考えてまいりたいと思っております。萩中集会所においては、すでに設置された建物ですので次回の改修等の機会に設置できるものは設置させていただきたいと考えています。また、いろいろな運動をするため危ない場合もあり、手すりをつけられる場合とつけられない場合があります。このあたりも研究させていただき、どういう設置の仕方が安全なのかということも含めて検討させていただきたい。

## 会長

よろしいですか。それでは合同点検に関しましてはこのくらいにします。なお、こういう形でUDパートナーの方が施設をチェックし、今の手すりの問題ではないですけど積み上げていって、ユニバーサルデザインの施設づくりとはどういうことなのかということを確認していく、まさにスパイラルアップで進めていこうということです。是非、今すぐ出来ない課題もあると思いますが、残された課題にならないような形で進めて行っていただければと思います。さきほどの職員の方に情報を提供するというのは、そういう意味では重要な活動ですので今後ともよろしく願います。

## UD事業について（引き続き）

### (4) 総合学習支援事業について（報告）

事務局より資料4について説明

(5) (仮称) おおもり街なか“すいすい”プラン  
まちづくり管理課より資料5について説明

会長

総合学習支援事業と(仮称)おおもり街なか“すいすい”プランについて説明いただきました。この内容に関しまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

C委員

総合学習支援事業について、この事業を実施する前に何を伝えたいのか、何が伝わったのか学校側との事前の打合せと実際にやった内容がどういうふうに違ったのか一連の作業としてとても大切なことだと思います。この資料の最後のところで、質疑応答とまとめというところですが、このところで子どもさんに対してそれから先生に対してもそうですが、アンケートのようなものは出されたのでしょうか。アンケートが出されたのであれば、どのようなアンケートが出されたのでしょうか。

会長

実際に学校の生徒さん先生方の反応あるいは学習の成果・効果がどういうふうに出てきているかということで、アンケートを実施しているのであれば結果を教えてくださいたいと思います。

事務局

総合学習支援事業について、一部の小学校の児童さんから感想文をいただいています。事業の成果等を図るようなアンケートは実施していません。委員からご意見をいただきましたので今後、アンケートの実施について検討していきたいと考えています。

C委員

社会教育の区民大学の講師をしていたときの経験をお話させていただきます。そのときのアンケートの結果が回収して手元にあります。学校でされた場合には、学校の先生方にもその内容を共有していただくことはとても大切なことだと思います。

会長

中学校は、蒲田中学校の1校だけですが、小学校はたくさん行っています。学習するということは、その後どういうふうにならなければ先生を含めて子どもたちの気持ちが変わったのか。学習の効果がどうなったかが重要なので、せつかく2日かけて事業を実施しているのでアンケートをとるとよいと思います。アンケートがとれないのであれば、最初の時間で交流がありますが、体験をやったあとにもういちど交流の時間を持つとよいのでは。やったということだけで終わってしまうと、せつかくのご努力が、中途半端に終わる。是非、まとめの部分でどういうふう考えたのか、あるいはどういう風に受け取ってくれたのかというところが大事なので、アンケートなりあるいはまとめの意見交換をプログラムに今後入れていただければと思います。よろしく申し上げます。

## 指導課

通常、学校の方では、こうした体験活動とかの授業をされた場合には、たいがいその後の時間でふりかえりの学習をしていますので、おそらくそうした活動をこの後されると思います。

## 事務局

蒲田中学校の例でいいますと、障がい者による講話（視覚障がい者、車いす利用者、聴覚障がい者）、そして体験（白杖、車いす、手話体験）をしました。その後、9月に蒲田周辺地区をまち点検します。例年ですと、来年2月頃に、まとめの発表会をしています。

## 会長

蒲田中については、連続したプログラムがあると考えていいですか。

## D委員

私たちが9月からですが、総合学習支援を5校でやることになっています。以前、独自で学校で授業をやらせていただいていたときには、感想文という形でこちらで作ったものをお願いして授業の後に先生方に書いていただいていた。質問が出た場合には、こちらからフィールドバックするという形をとっていました。この総合学習支援でやらせていただいているときは、そういうものをしていません。今年度、反省として、今準備しているのはそういうものを入れています。中学校はなく、小学校の4年生だけなのである程度単純化した形で授業で使うA4版のワークシートを作りました。そこに、何項目かありますのでそれぞれにキーワードを書いています。そのあとに、感想文を書いていただくように様式をつけています。これから事前打合せに行く段階で先生方をお願いしようと思っていますが、先生方に受け入れていただけるのか。今の先生のお話では、受け入れていただけると考えています。

## E委員

わたしは、「ひとにやさしいまちづくりを進める大田区民の会」の方で実際にこの総合学習の支援を何校かですが一緒に参加させていただいています。中学校は希望する学校は少ないのですが、そのなかでも蒲田中学校はすごく熱心で、かなり組み立てたプログラムで毎年行っている学校です。総合学習支援は、何年も前からひとにやさしいまちづくりの方でチームを組んで、障がい当事者の方が子どもたちに分かりやすくコミュニケーションが取れていると考えています。私が参加した千鳥小学校では、まず障がいとはどういうものなのかということで、障がい者の困っていることとかのお話、2回目に体験。必ず、前回、お話したことを覚えていますかというやりとりもあります。実際、感想文を読んでみますと、子どもたちはそのとき聞いたり体験したことをちゃんと理解していると感じました。

## 会長

今の話を聞いていると蒲田中学校の例ですと、資料にはプログラムが一部しか書かれていない。最初に当時者との交流があって、実際にいろいろな体験があって、そのあとにまち点検をして、その結果を発表するということから、プロ

グラムとしては、参加された生徒はいろいろな意識を高められているものになっていることが理解できました。ひとにやさしいまちづくりを進める会の皆様が一生涯懸命やっただいていただいているので、このプログラムをより他の小学校、中学校などにも広めていただけるようしていただければと思います。

“すいすい”プランを含めてご意見は、いかがでしょうか。

このプランは、区民部会がありますがこのメンバーはどういう方ですか。

まちづくり管理課

高齢者団体で推薦をいただいた方、各障害者団体から推薦をいただいた方、それと地元の自治会・町会、商店街の代表者の方、推薦をいただいた方が入ってまして大森は21名になっています。

会長

ここには、UDパートナーは入っていないのですか。

まちづくり管理課

UDパートナーとしては、入っていません。

会長

せつくなので情報交流ができると、こちら大森地区には11名のUDパートナーの方がいますのでうまく交流していただくとまちづくりと各パートナーの方の意識が深まると思います。

まちづくり管理課

ビジョンの中で重点整備地区は、大森と蒲田としていますが、それ以外の地区も順次、検討していきたいという方向性を出しています。その際には、UDパートナーのご協力をお願いしようと思っています。

会長

是非、横断的な協力をしていただければと思います。よろしく申し上げます。次に、部会の報告をお願いします。

## 6 部会について（報告）

UD推進部会の報告

G委員（UD推進部会委員）より資料6について説明

UD普及部会の報告

D委員（UD普及部会部会長）より資料6について説明

会長

UD推進部会とUD普及部会のこれまでの活動について、ご説明をいただきました。何かご質問等ありましたらよろしく申し上げます。

F委員

11月に実施される平和島フェスタへの参加ですが、いまからでも十分に間に合うと思います。ユニバーサルデザインという考え方について、みなさん知らなすぎると思います。商店のみなさんにUDといってもわかるひとは誰もいません。10月に商い観光展があります。PIOでやりますが、UDが何者かをまずどん

どん広報してもらわないと、それが大事なことだと思います。予算的に大丈夫かはわかりませんが。

#### E 委員

ひとにやさしいまちづくりを進める大田区民の会として昨年まで平和島フェスタにブースを出しています。一昨年は、ユニバーサルデザインとして十数点の共用品の展示をしました。ひとにやさしいまちづくりを進める大田区民の会で作成したパネルも展示して発表しています。ただ、今年は、ひとにやさしいまちづくりをすすめる会が参加できない都合がありますのでその空間としては、少しスペースがあいています。机等は有料レンタルになります。パネル等の準備や机等の借用のための予算等の準備が整えば、私の会が隣でブースを出していますので、その場所にも少し物が置けますのでご協力はできます。先ほどの商い観光展は、10月13日、14日の土日のPIOでやります。

#### 会長

今のお話を聞いていて、できる範囲でPRしないとUDが広まらないと思います。予算がないのであれば、手書きでもいいからUDをPRするとよいと思います。できる範囲で努力することが大事なかなと思いますのでよろしくお願いします。

#### 事務局

今日いただいた意見を参考にしてUDのPRをしていきたいと思います

#### 会長

今年はやれるところからやっていただき、来年度は年間スケジュールに沿って実施していただければと思います。それが、UDを進める場合の重要なテーマになると思います。各部会とも一生懸命取り組んでいただいていると思います。課題の解決に向けて、更に取り組んでいただければと思います。

次に、議題の順番を入れ替えまして、意見交換のところでG委員の“エスカレータの問題”のご提案と、H委員の“ユニバーサル駅伝大会”の件についてみなさんへの提案と説明があります。順番に説明をお願いします。

## 7 意見交換

(1) “エスカレータは歩くと危険” キャンペーンについて、

G委員より資料8に基づき説明

(2) 第5回 大田ユニバーサル駅伝大会について

H委員より資料9に基づき説明

#### 会長

今、お二人からそれぞれこれからのUD社会を実現するに当たって重要な問題提起をしていただきました。それを運動にしたり、あるいは事業にしているということですが、おふたりのご報告と提案を含めてお聞きいただいて、何かご意見等ありましたらお願いします。いかがでしょうか。G委員のエスカレータの報告ですが、普段の利用を見ていると右側を歩く人より歩かないで乗っている人が多

いようにも思います。理解しその気になればみんな止まって乗るという可能性が大きいと思います。運動することによって、エスカレータは歩かないで手すりをしっかりにぎって乗る乗り物でということになれば変わる可能性が高いと思います。

ユニバーサル駅伝は、今年初めて参加させていただいて素晴らしい大会だと思いました。われわれは、簡単にハード面、ソフト面、あるいはユニバーサルデザインは大事だとかいいますがそれは、言葉で言ってもなかなかわからない。このように、当事者の方、中学生、高校生、大学生などの若い人たちがたくさんあの場で会って話し合いをして一体となって生活時間を過ごす。それは、心のバリアフリーはこういうものですと言葉でいうより、肌で感じますからわかるんですね。そう意味では、せつかく大田区でこういう取り組みが先駆的にやられているわけですから、われわれの推進会議としても積極的に応援をしていく事業ではないかと個人的に思っています。皆さんの賛同がいただければ会議のなかでもそういう位置づけで、心のバリアフリーの一環の事業として是非支援をしていただきたい。

#### H委員

来年は、先ほど福祉部長から話がありましたが、第68回東京国体のデモンストラーション競技になりました。国体期間中に9月29日に大田スタジアムで行われます。是非、みなさん見ていただければと思います。よろしくお願いします。

#### 会長

ありがとうございます。それでは、残りの議題について説明をお願いします。

### 8 UDまちづくりスケジュール（報告）

事務局より資料7、7-2について、連続立体事業課から資料7-3について説明

#### 会長

いままでの説明で、他にご質問等ございますか。今日、予定された議題については、これで終了しますがよろしいでしょうか。議論を通し、ユニバーサルデザインのまちづくりが基本方針を受け、より具体的に事業化が進んでいることが確認できたと思います。特に公共施設等のUDチェックも進んでいますし、チェックされた内容を今後活かしていくという庁内の体制も強化していることが分かりました。また、総合学習支援については、是非参加していただき、どういう内容ですすめているのか実際にみていただき、子どもたちに対する学習支援の内容を確認していただければと思います。それから、UDをより多くの区民の方に知ってもらおうということで積極的にキャンペーンを進め、こうした活動を広く知らせていっていただきたいと思います。また、“エスカレータについてのキャンペーン”と“UD駅伝”については、この会議としても積極的に支援できればと思います。それでは、会議はこれで終了します。

#### 事務局

委員の皆様、長時間お疲れ様でした。まだまだご意見等あると思われませんが、



ご意見がありましたら事務局の福祉管理課へ意見をお送りいただければと思います。本日は議題が盛りだくさんで会議時間が不足しましたことをお詫び申したいと思います。次回は、来年の2月中旬頃に開催したいと考えています。改めてご通知を差し上げますのでよろしくお願いしたいと思います。

会長

本日はこれで終了します。是非、次の推進会議までの間いろいろ事業がありますので、委員の皆さん方には、積極的なご参加をよろしくお願いします。それでは、推進会議を終了します。